

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年 2月

応募者名： 加古川市都市計画部都市政策局市街地整備課

事業の名称：交通結節点改良事業

実施都市名：兵庫県加古川市

事業目的

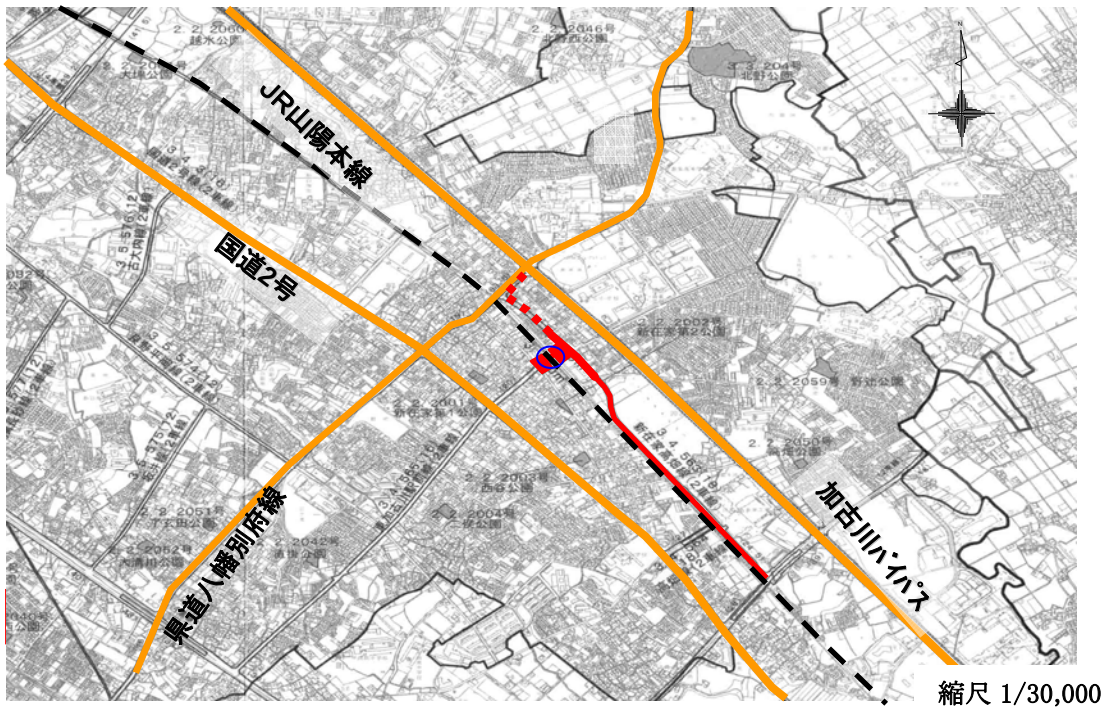
当該JR東加古川駅周辺地区は、JR山陽本線より北側地区の駅利用者が、JR東加古川駅に北口がなく、近い踏切(上土堤一踏切)を通り駅へアクセスしているため、踏切が混雑し、交通結節機能が不足していた。このため、新たに駅北広場、南北自由通路、北側駅前広場へのアクセス道路を整備するとともに、駅南広場を再整備することにより、駅北側地区の利用者の駅へのアクセスを向上させ、交通結節機能の充実、強化を図るものである。

事業概要

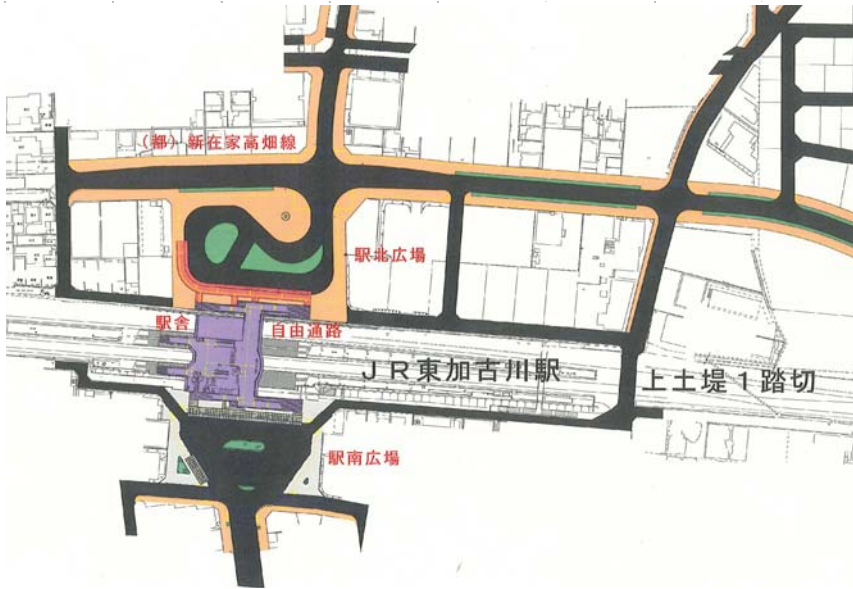
事業名:交通結節点改良事業
路線名:東加古川駅前線、新在家高畑線
事業箇所:加古川市平岡町新在家
事業延長:A=0.74ha L=273m
幅員:W=18m
総事業費:約55億円
事業期間:平成14年度～平成20年度

本事業は、JR東加古川駅南広場(A=0.34ha)、駅北広場(A=0.4ha)、アクセス道路新在家高畑線(L=273m)の整備に併せて、JRが駅舎の橋上化を行い、駅への安全で快適な歩行者動線を確保する。各施設のバリアフリー化により高齢者、身体障害者の利便性と、音声案内等情報提供施設を整備することにより、視覚障害者等の移動の円滑化を図った。

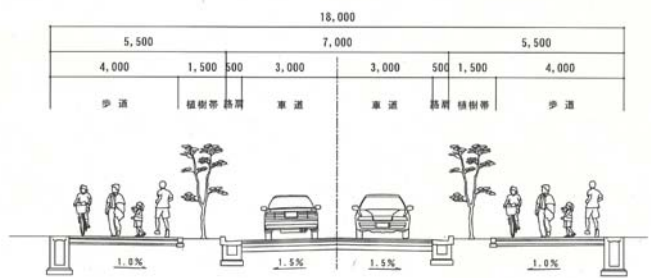
事業位置図



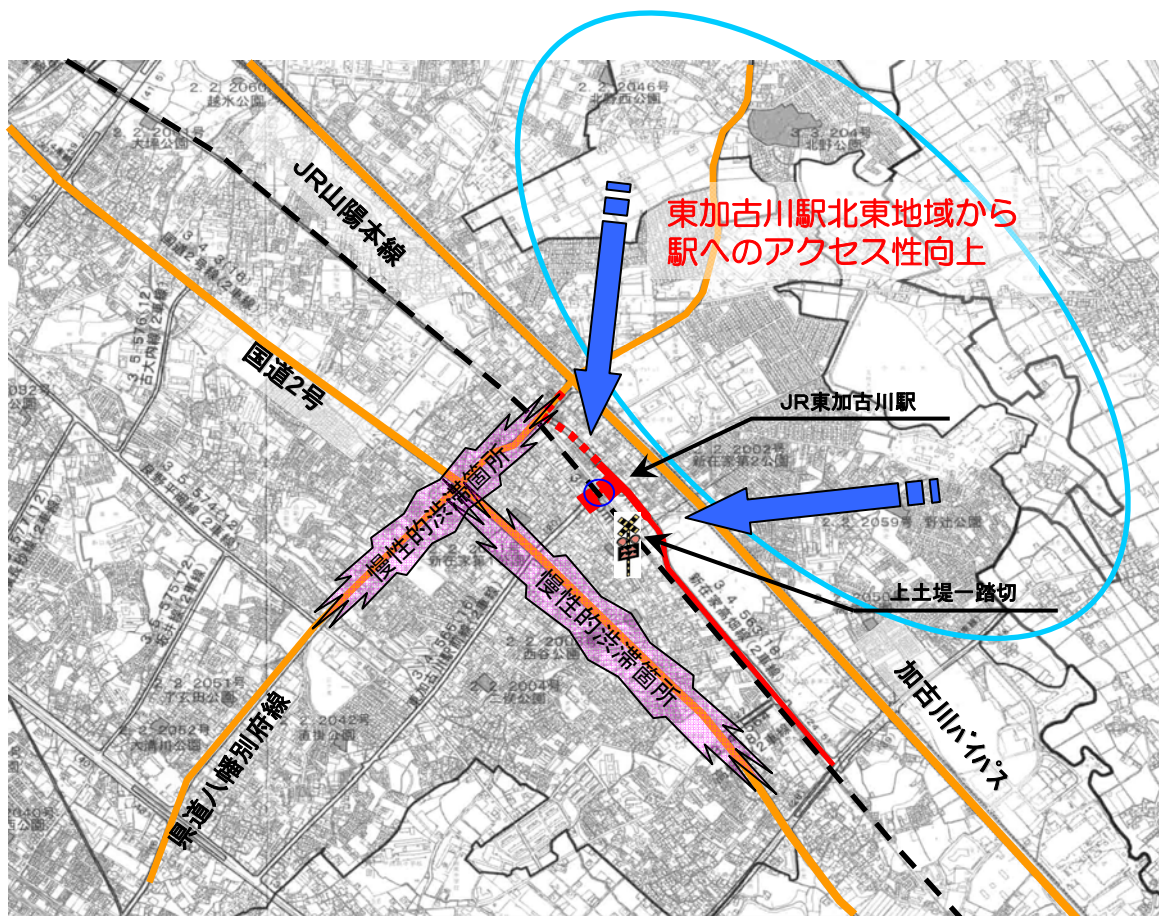
全体図(平面図・側面図・横断面図)



標準断面図
(都)新在家高畑線



交通結節点改良事業の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 交通結節点改良事業
 路線名: 東加古川駅前線、新在家高畑線
 事業箇所: 加古川市平岡町新在家
 事業延長: $A=0.74\text{ha}$ $L=273\text{m}$
 幅員: $W=18\text{m}$
 総事業費: 約5,500百万円
 事業期間: 平成14年度～平成20年度

○交通量調査結果

(上土堤一踏切)
 供用前 実測車両5,897台/16h
 歩行者5,304人/16h
 供用後 実測車両5,731台/16h ↓ 75%減
 歩行者1,328人/16h
 (自由通路南北横断)
 歩行者1,230人/16h

「整備効果」

JR東加古川駅の南北の駅前広場及びアクセス道路を整備することにより、上土堤一踏切の渋滞緩和と、駅北側地区の駅利用者が踏切を渡らずに駅へアクセス出来るようになり、安全で快適な歩行者動線が確保された。

また、南北自由通路においては、駅利用者だけでなく、市街地を南北に往来する歩行者も多くあり、市街地の一体化に寄与している。

事業前写真

平成14年4月撮影



平成14年4月撮影



平成14年4月撮影



事業後写真

平成20年4月撮影



平成20年4月撮影



平成20年4月撮影

